令和 8/2026 年度　日本病理学会学術奨励賞申請書

申請日　西暦　　年　　月　　日

ふりがな 申請者名：　　印　　会員番号： （氏名英語表記）： 生年月日(西暦)：　　満　　歳　（本年度末時点）　会員歴：　　年 所属　：　　（職名：　　） 所属住所　：〒 Tel：　　Fax：　　e-mail：
略歴（学位取得者は、取得年月日を明記してください。）
申請課題名・功績名
業績概要（ MS 明朝体 11 ポイント、800 字以内で枠内に収まるようにしてください。なお，記述の中で論文報告しているものについては、業績一覧の番号を附してください。図表不可。）

日本病理学会関係の学会発表等（総会、秋期特別総会、病理学会カンファレンスなど、５題以内、最近５年以内のものを記載してください。発表者名全員を書いてください。）

日本病理学会関係の受賞歴等（100 周年記念研究新人賞等受賞歴：賞の名称・年・課題名）

本課題に関する論文、功績等　（論文は 10 編以内とし、その内の代表論文３編以内の別刷を提出）

以下の記載例に倣ってください。

・論文業績（10 編以内）は１番を最新として、時系列で降順に示してください。
・著者は省略せず全員を記載してください。
・応募者に下線を付し、太字にしてください。応募者が責任者の場合には「*」を付してください。
・掲載誌を太字にしてください。
・別刷をつけた業績の先頭に「○」印をつけてください。

記載例:

論文

1. Tanaka J, Yamada S, **Suzuki I*.** Single cell RNA analysis of ZRRF1-induce breast cancer mice model. **Pathol Int** 72; 500-505, 2022
2. **鈴木一郎,** 田中二郎,山田三郎, 伊藤四郎. 浸潤性乳管癌の間質形成と臨床的特性. **診断病理**, 50; 175-180, 2021
3. **Suzuki I,** Tanaka J, Yamada S, Ito S. Immunohistochemical analysis of ZRRF1 in invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 68; 203-210, 2018
4. **Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Cloning of signaling molecule ZRRF1 in breast cancer cell line MCF7. **Pathol Int** 60; 124-130, 2010
5. **・・・・・**

著書

1. Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. Histopathology. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 2013
2. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳癌の病理像と臨床像. 組織病理 (山田三郎, 伊藤四郎・編集). 病理書院, p.175-180, 2015

令和 8/2026 年度　日本病理学会学術奨励賞受賞候補者推薦書

下記の会員を日本病理学会学術奨励賞受賞候補者として推薦いたします。

西暦　　年　　月　　日

日本病理学会学術評議員 _____ 印

※推薦者自署　押印のこと

候補者名
推薦理由
推薦者連絡先 氏名：　　（会員番号：　　） 所属施設：　　（職名：　　） 所属住所：〒 Tel：　　Fax： e-mail：